

中野区の☆“ものしり博士”の皆さんおめでとうございます。

第10回中野区検定は、令和5年11月26日（日）産業振興センターにおいて午前10時より、受検者75名で実施しました。

受検者のうち、高得点の9名を「ものしり博士」に認定しました。

今年は、猛威を振るっていたコロナも第5類に分類され過去最高の人数の方が受験されました。受検者の皆様ご協力いただき有難うございました。

中野区検定は、アンケートによると「とても難しかった」が多数を占めていました。ご意見の中には「設問のバランスがいいので問題を解くと中野のことを知ることが出来るいい問題が多い」や「問題文が長いのでもう少し短くして欲しい」というご意見もいただきました。

「ものしり博士」になられた9名の方は、中野区のことを理解し関心を持っていただいていることがよくわかりました。おめでとうございます。

また、惜しくも「ものしり博士」にはなれなかった方々も中野区に関心をお寄せいただきありがとうございます。

認定授与式は、令和6年1月12日（金）に中野区役所第9・10会議室で執り行いました。そして、複数回ものしり博士に認定されている方で3回以上の方を「特級ものしり博士」に認定することといたしました。

この検定は、中野区・中野区教育委員会に後援していただいている事もあり、来賓として区長酒井直人様、区議会議長酒井たくや様、教育長入野貴美子様にご臨席賜りました。

区長、議長並びに教育長から祝辞をいただきました。

特に第1回大会のものしり博士でもある区長からは、「問題を見ていると段々問題が難しくなっている中野区検定を何回も受検され、しかも、何回もものしり博士になられている方が複数人おられることに対し尊敬の念を持っている」との発言がありました。そして、議長・教育長それぞれのお立場から中野区検定事業の意義や継続。また、中野区教育振興会の発展にも大きな期待を寄せていただきました。



「ものしり博士」は認定書をお持ちの七名です。
(お二人欠席です)

